



## 令和6年度 公開園指導案



## 公開園【橘幼稚園】

【日 時】 令和 6年 10月 31 日 (木曜日) 9時30分～10時30分

【対象児】 0歳児 ひよこ 組 (男児 3名)

1歳児 あひる 組 (男児 5名 女児 4名)

【担任名】 八木 智子

補助教諭 瀧瀬 季子 青木 理緒 稲原 沙紀

看護師 立花 優実

### 【子どもの姿】

<子どもの生活の特徴>

○衣服の着脱は靴下を履いたり、ズボンを脱いだりなど自分なりにやりやすい方法を探り、意欲的に取り組む姿がある。難しいと感じたり、早く遊びに向かいたい気持ちから、保育者の援助を求める姿もあり、その場合は保育者と一緒に行っている。0歳児は1歳児の姿を見て着替えの際に自分でズボンを脱ぎ、服から手を出す姿も見られる。

○排泄面では、保育者に誘われたり、友達の姿を見てトイレに座ってみる姿があり、タイムイングが合うと排泄できることがある。オムツに排泄すると「出た」と知らせる姿も見られる。

○食事では手つかみやスプーンでこぼしながらも自分で食べようと、好きな物を「おかわり」など言葉や仕草で伝える姿も見られる。食事前の手洗いや食後の挨拶、手拭きで口元や手を拭くなど、毎日の繰り返しの中で仕方が分り、自分でしようとする姿も見られる。

### <発達の特徴>

○歩行が安定し、小走りをしたり、その場で回りバランスをとりながら動くことを楽しんでいる。遊具にも積極的に挑戦している。指先の機能も発達し、つまむ、めくる、はがす、パズルを合わせるなどの微細な動きも生活や遊びの中で行っている。

○保育者に信頼感を持って過ごし、関わりを楽しんだり、甘えを見せたりしている。自分の思いを伝えたいという気持ちも見られ、指差しや身振り、片言、二語文で表現し、保育者に伝えようとしている。

○生活や遊びの中で存分に自己主張し、思うようにならないと泣いたり怒ったりしている。友達との関わりの中でも友達と同じことをしたい、同じものを使いたいという気持ちから、使っている物を取られそうになったり、友達が使っているものを欲しくしたりして「○○(自分)の!」と自分の思いを強く主張し、手荒になる姿もある。

### <遊びの特徴>

○運動遊び(よじ登る、滑る、落ちる、乗り物にまたがり蹴って進んだり、押して進む、小走りする)

歩行が安定することで全身を使った様々な動きを楽しみ、室内の運動コーナーで挑戦しようとする姿が見られる。保育者や友達と一緒に遊ぶ様子も見られ「先生」と呼んで遊具に誘ったり、友達と同じ動きをして、微笑んだり、笑い合ったりしている。



### ○ごっこ遊び(ままごと・お店屋さん・病院)

身の回りのことへの興味関心が深まり、日常の生活の中で、見たり聞いたりしたこととを行動に移し、いつも自分がしてもらうことを人形や友達に模倣やつもり遊びとして、再現をして楽しむ姿が多く見られる。人形に優しく布団をかけたり、とんとんとして、寝かしつけをしている。

棚をカウンターに見立て野菜やコップなどを並べお金を渡したつもりになって、それぞれが店員とお客さんになりきっている。病院をイメージする姿もあり、「だいじょうぶですか!とお医者さんと患者さんになりきり遊びを楽しんでいる。

### ○絵本

一人であくくってみたり、保育者に読んでもらうことを楽しんでいる。繰り返しのある絵本や興味のある乗り物の絵本を喜び、覚えて言ったり、繰り返し楽しんでいる。

○手指を使った遊び(パズル、ブロック、型はめ)つまむ、型を合わせる、落とす、など手を協働させ、集中して繰り返して楽しんでいる。



### <ねらい>

○歩く、上る、下りる、またがるなど体を動かす楽しさを味わう。

○保育者や友達、身の回りの人の模倣や、つもり、見立て遊びを楽しむ。



### <内容>

- ・すべり台、押し車等の体を使った遊びをする。
- ・保育者や友達と一緒に、ままごとごっこやお店屋さんごっこ、病院ごっこをする。
- ・じっくり絵本を見たり、保育者と一緒に見たりする。



### <内容選択の理由>

- ・一人一人の子どもが自分の好きな場所やおもちゃ、遊び、その時にやりたいこと、思ったことや興味を引かれたことを十分に楽しんで自分を表し、満足感や充実感を味わってほしい。
- ・保育者との愛着を基盤に自ら好きな遊びを選び、物の特徴を知ったり、遊ぶ中での面白さや不思議さ、心地よさを味わってほしい。
- ・好きな遊びをする中で保育者や友達に自分の気持ちを表し、気持ちに通う嬉しさや喜びをたくさん味わってほしい。

時間	環境構成	予想される子どもの姿	保育者の援助と配慮	評価の観点
9:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きなおもちゃを選んで遊べるように、コーナーの位置に配慮する。</li> <li>すべり台</li> <li>トンネル</li> <li>押し車</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登園すると保護者にバイバイと手を振って別れ、保育者の元に行き、安心して遊び始める。</li> <li>体を動かす遊び <ul style="list-style-type: none"> <li>すべり台に上ったり下りたりする。</li> </ul> </li> <li>すべり台のトンネルに入り、穴から顔を出したり、手を出したりしている。</li> <li>押し車を押しながら歩いたり、走ったりしている。ブーブーやピーポー等の擬音も使う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの目を見て笑顔で迎え、安心感を持てるようにする。</li> <li>子どもの位置や動きを把握し、危険が無いうように環境を整える。</li> <li>のびのびと体を動かして十分に遊べるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者に親しみを持って関わっているか。</li> <li>好きなおもちゃの場所に自ら行っているか。</li> <li>上る、下りる、入る、出る等の動きを自らしているか。</li> <li>保育者や友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しんでいるか。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>型はめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指先を使う遊び <ul style="list-style-type: none"> <li>おもちゃを手にとりながらめたり、型に合わせて入れようと指の動きを変化させている。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが自分でおもちゃを選び、遊びに集中している姿を応答しながら温かく見守る。</li> <li>「入ったね」と共感、応答的に関わる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おもちゃに興味を持って手に取ったり、遊んだりしているか。</li> <li>自分の感じた思いを保育者に伝えようとしているか。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「すりすり ももんちゃん」「じゅー じゅー じゅー」「だるまさんの」「いっぴきの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本 <ul style="list-style-type: none"> <li>絵本棚から好きな絵本を取り、めくって絵を見たり「ワンワン」「キリン」と言ったり、保育者に向かって「ばあ」「しー」と表情豊かに伝える。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの表情や言葉に「いぬさんだね」など共感し、保育者も表情豊かに関わる。</li> <li>「もう1回見る？」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら好きな絵本を取り出し、めくったり、保育者の元へ持って行ったりしているか。</li> <li>表情や言葉で思いを</li> </ul>

のねずみ	のねずみ	のねずみ	のねずみ	のねずみ
<ul style="list-style-type: none"> <li>フライパン</li> <li>お皿</li> <li>コップ</li> <li>包丁</li> <li>まな板</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>もう一回読んでほしい事を動作や発声で伝えようとする。</li> <li>○ままごと遊び <ul style="list-style-type: none"> <li>お皿やコップに食べ物を入れ、保育者や友達に「どうぞ」と持ってくる。</li> <li>食べ物をのせたお皿をテーブルに並べ食べる真似をする。</li> <li>エプロンやおんぶ紐をつけてほしいと伝える。</li> <li>友達と物や場所の取り合いになり、自分の思いを主張し合う。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが差し出すものを「ありがとうございます」と受け取り、「おいしいね」等と子どもに合わせて言葉をかけ、やりとりを繰り返すようにする。</li> <li>いざこざになった時には、それぞれしたかった思いを言葉にして、丁寧に接し、自分の思いを安心して表せるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>飛んだり、消えたりする変化に目を向け「消えたね」「高く飛んでいったね」と言葉で表現をして思いを共有しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが飛んだり、消えたりする変化に目を向け「消えたね」「高く飛んでいったね」と言葉で表現をして思いを共有しているか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>シャボン玉液</li> <li>ストロー</li> <li>容器</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シャボン玉遊び <ul style="list-style-type: none"> <li>保育者が飛ばすシャボン玉を追いかけたり、触ろうと手を伸ばす。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シャボン玉遊び <ul style="list-style-type: none"> <li>保育者が飛ばすシャボン玉を追いかけたり、触ろうと手を伸ばす。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>飛んだり、消えたりする変化に目を向け「消えたね」「高く飛んでいったね」と言葉で表現をして思いを共有しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>飛んだり、消えたりする変化に目を向け「消えたね」「高く飛んでいったね」と言葉で表現をして思いを共有しているか。</li> </ul>



## 公開園【橘幼稚園】

【日 時】 令和 6年10月31日（木曜日）9時30分～10時30分

【対象児】 2歳児 なかよし組 21名（男児 12名 女児 9名）

【担任名】 なかよし組 栄 あいら  
補助教諭 井上愛美 今儀菜央  
保育補助 豊崎優子

### 【子どもの姿】

＜子どもの生活の特徴＞

- クラスの約半数が日中パジャマで過ごし、トイレトレーニングに励んでいる。トイレへの抵抗感から、トイレへ誘っても行くことが難しい子もいる。
- (ボタンを外す、ズボンを履くなど)衣服の着脱の際、自分でできる事は自分で頑張っている子もいれば、難しい時や甘えたい時には保育者と一緒にする子もいる。
- 給食時、スプーンとフォークを使って食べるが、上手くつかめず手づかみ食べする子もいる。

＜発達の特徴＞

- 友達の実似をしたり、自分の考えを伝えたりして友達、保育者との関わりを楽しむ。
- 自我が芽生え、自分の思い通りにならないと怒ったり涙が出たりする。
- 言葉が出てきて自分の気持ちを保育者や友達に伝えようとする。

＜遊びの特徴＞

○粘土遊び

- ・ちぎる、くっつける、型にはめる等して感触、形の変化を楽しむ。
- ・丸める等自分の思い通りの形を作ることが難しい子もいるが、保育者に手伝ってもらいながらイメージを膨らませ、集中して遊ぶ。

○おもまごと



- ・作ったものを保育者に食べてもらい、やりとりを楽しむ。
- ・毛糸をラーメンにしたりドリックカップにストローをさして飲む素振りをしたりと素材からイメージして遊ぶことを楽しむ。
- ・以前は作った料理は保育者に食べてもらうという保育者との関わりが多くあったが、今では保育者だけでなく友達にも料理をふるまう姿があり、少しずつ友達との関わりを楽しんでいる。



○汽車遊び

- ・乗り物が好きな子が多い中、交代したり順番に乗車したりと、遊び続けたい気持ちに折り合いをつけて変えられる時があれば、自分の思いが強くなり泣いて我を通そうとする姿もある。
- ・線路に沿って汽車を走らせ、「速いぞ」等と言葉にしながら楽しむ。

＜ねらい＞

- 保育者を仲立ちとして、友達と関わって遊ぶ楽しさを味わう。
- 保育者や友達に気持ちを伝えたり、やりとりを楽しんだりする。

＜内容＞

- 友達との玩具の取り合いなどのトラブルの中で、保育者を仲立ちとして相手の思いに気付く。
- 絵本の簡単な言葉の繰り返しを真似して遊ぶ。
- 見立て遊びやつもあり遊びをして言葉のやりとりをする。

＜内容選択の理由＞

- 自分の気持ちや思いを言葉で伝え、受け止めてもらえる安心感から自分で伝える楽しさ、喜びを感じてほしい。
- 保育者や友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じるとともに、満足感や達成感を味わってほしい。



時間	環境構成	予想される子どもの姿	保育者の援助と配慮	評価の観点
9:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おもまごとのコーナーを整える。</li> <li>・取り出しやすいように配置する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○おもまごと</li> <li>・食材を鍋に入れ火にかけてたり、包丁で切ったりとイメージを膨らませて楽しんで遊ぶ。</li> <li>・「パーティーしよ」等と友達と言葉のやり取りをし、一緒に遊ぶ楽しさを感じる。</li> <li>・保育者に「どうぞ」「食べて!」と料理をふるまい、やり取りを楽しむ姿がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者も遊びの中に入り、今作っているものを問いかけたり、作ってほしいものをリクエストしたりして言葉のやり取りを楽しめる関わりをする。</li> <li>・おもちゃのトラブールになった時は双方の意見を聞き、子ども同士の間持ち合う受け止め仲立ちとなる。</li> <li>・「美味しかった」「ごちそうさま」「もっと食べたい」と言葉遣いを伝え、楽しい気持ちを共感する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友達との言葉のやり取りを楽しんでいるか。</li> <li>・言葉で自分の思いを伝えているか。</li> <li>・イメージを膨らませて遊んでいるか。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選ぶときに絵本の表紙が見えやすいようにしておく。</li> <li>・落ち着いてみる事ができるような椅子などを置いておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○絵本</li> <li>・自分で絵本を選び、「これ読んで」と保育者に伝える。</li> <li>・保育者の膝に乗る等安心できる体勢で楽しむ子もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心できる雰囲気の中で、子どもの思いに丁寧に応えていく。</li> <li>・繰り返しの言葉をリズムに合わせて一緒に言ったりしながら、楽しめるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信頼できる保育者と安心して楽しんでいるか。</li> <li>・「○○」と知っているものを言ったり、くり返しの言葉を楽しんだりしているか。</li> <li>・「○○駅で〜す」などと自分なりにイメー</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白テープで線路を作る。</li> <li>・机を出す時には線路</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○汽車遊び</li> <li>・「カンカンカン」「次は○○駅〜」と汽車をイメージして楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「はやいね」等楽しさを感じる声掛けをするとともに安全面</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「○○駅で〜す」などと自分なりにイメー</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>を遮らないようにする。</li> <li>・汽車の順番待ちがある際には見通しができるようイスを出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汽車の数に限りがある為「貸して」「いいよ」のやり取りをしながら楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>に気を付けながら見る。</li> <li>・「貸して」のやり取りが難しい子へは、もつと乗れたかった気持ちや共感し、次替わってもらえる目印を示して気持ちの整理がつくようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「これは何?」「○○みたいだね」などとイメージしやすいように言葉を使える。</li> <li>・作った物を何かに見立てたりして楽しんでいるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しんでるか。</li> </ul>
--	--	--	---	--	---



## 公開園【橘幼稚園】



### ◎新聞、広告遊び

鉄棒では、足抜き回りを先生に見てもらい事で自信につながったり、雲梯でのぶら下がりが・高い所へ登ってみるなど「すごいね!」と先生や友達から褒められたり拍手をしてもいいながら達成感を味わっている。その事が、他の子への刺激にもなっている。



### <ねらい>

- 遊びを通じて自分なりのイメージや表現で相手に伝え、一緒に共感したりやり取りを楽しむ。
- 気の合う友達と追いかけっこしたり、交代に役割を決めたり、順番を意識したり簡単なルール遊びを楽しむ。
- 保育者と一緒に考えながら、作りたいものを完成したり、それを取り入れて遊ぶ。

### <内容>

- ままごとコーナーで一緒に遊びたい子と遊ぶ。
- 秋の気候を肌で感じながら、空の雲の動きを見たり草花の名前を知ったりと季節の移り変わりを保育者と一緒に共感し、生活に取り入れる。

### <内容選択の理由>

- ままごと遊びなどを通じて、自分の思いを言葉で伝えたり、相手の思いにも気付いてほしいと考えている。さらに、友達とイメージを共有し、やり取りする楽しさを感じて欲しいと考えていた。
- 外遊びでは、乾いた砂から作れるサラ砂集めをする子や「はい! ごちそうできました。どうぞ!」とカッパに砂を入れて保育者の所に運んでくれる姿が見られる。園庭に落ちている赤い葉っぱや、サルズベリの花を飾りとして拾い集めてみたり、オシヤレにアレンジする。「こんな葉っぱよく見つけたね」「キレイな色だね」など保育者との会話を楽しみ、次はこんな風にしてみよう! という意欲につながってほしいと考え選択した。
- 今、子ども達が注目して楽しんでいる事に目を向け、身近な素材を使って仮装してみたり、興味のある部分にアイデアを提供することで、日々の保育をおもしろく、自分たちで表現したり遊びにつなげられればと考え選択した。

【日 時】	令和6年10月31日(木曜日)	9時30分～10時30分
【対象児】	3歳児 たんぽ組 17名(男児 9名 女児 8名)	
【担任名】	ひまわり組 中口 里恵 たんぽ組 阿波 昌子 保育補助 浪江 絵美 保育補助 梅原 美智子 補助教諭 岡田 友子	

### 【子どもの姿】

- <子どもの生活の特徴>
  - 生活の流れが分かるようになり、自分でボタンをはずし着替えを頑張る姿が見られる。服の裏表のひっくり返しや、たたみ方などを保育者に教わりながら取り組んでいる。
  - 食事ではお箸を使える子と、食材に合わせてフォークやスプーンの使い分けがまだわからない子もいるが、こぼさないように食べようとする姿がある。
  - 排泄は自分のタイミングで行けるようになっているが、まだ声かけの必要な子もいる。

### <発達の特徴>

- 友達との関りも増え、会話を楽しんだり一緒に遊ぶことを楽しんでいる
- まだ自分中心な活動が見られる為、おもちゃの取り合いになったり「お友達が悪い」と責める姿も見られる。
- 音楽が流れると自然と体を動かしたり踊ったり、知っている曲を歌ったりと楽しい雰囲気作りが出来る。
- ごっこ遊びや見立て遊びを通じて、数人のグループで遊びことを楽しんでいる。



### <遊びの特徴>

- ◎ままごとコーナー  
廊下に設置している台所やテーブルコーナーは、隣のクラスの友達も行き来ができて、新たに友達の幅も広がるきつかけとなっている。エプロンやコック帽を着用して料理人役になったり、食べるお客さん役になったりとそれぞれに役割を決めて楽しむ姿が見られる。「ちょっと牛乳しかないんですけど…」「すみません。もう少し待ってくださいいねー」など、身近な生活の中での会話が子ども同士の間でやり取りの中で行われ、その役になりきる事で満足感を感じている。



### ◎運動遊び

- 様々なタイプの三輪車がある中、それぞれにお気に入りを選んでところから始まり、友達を乗せて楽しむ子・一人で漕いでドライブする子・友達との競争を楽しむ子など、一緒に仲間がいることに共感しあったり協力し合う姿が見られる。友達が後ろの席に友達を載せて重たく進まない様子があると、後方から押しやり、運転手を交代するなど自分たちで考える様子がある。



時間	環境構成	予想される子どもの姿	保育者の援助と配慮	評価の観点
9:30	〈各部屋〉 〈廊下〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・順次登園してきた子から荷物の片付け、着替えを済ませて、それぞれ遊びたい場所を見つけて遊ぶ。</li> <li>・室内では、ブロック遊びやままごと遊びなど、昨日の続きを楽しんだり、新しく物作りを考えたり友達に見せたり、一緒にやる？と誘う姿が見られる。</li> </ul> ○ままごととコーナー <ul style="list-style-type: none"> <li>・使いたいおもちゃの確認をしながら、入ってくる友達の役割分担をする子や、自分だけの世界で料理作りを楽しむ子など、いろんなやり取りをしながら、ままごと遊びを楽しむ。</li> <li>・使いたい物や探している物を自分なりに探すが見つけられない場合は、保育者にも相談して一緒に探してみる。</li> </ul> ○制作コーナー <ul style="list-style-type: none"> <li>・広告を細かく丸めたり新聞紙をじゃばら折りにしてリボンを作ったり、自分で出来る事を頑張ってみたりできる友達がいいたら、一緒に手</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着替えの際、難しく困っている園児には援助しながら、自分で出来る方法を伝えていく。</li> <li>・昨日の続きから、さらに発展しそうな材料や環境を提供したり、子ども達からの思いを引き出して遊びを広げていき楽しさを共感する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者も一緒に遊びの中に加わり、言葉でのやり取りを楽しめるような関わりを持つ。</li> <li>・お客さんになったり、子ども達の気づきや感じたことに共感したり、「いい匂いがしてきましたね～」や「色合いがステキです」など、五感を通じて表現遊びに広げるような言葉かけをする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なるべく自分の手で作る作品をすすめ、難しい所やテープを貼る際の手伝いは保育者が援助する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりに考えて挑戦したり行動しようとしているか。</li> <li>・子ども達同士のやりとりが増えているか。</li> </ul>
	〈廊下〉 ・台所セット ・おもちゃの食材 ・テーブル ・イス ・エプロン ・コック帽 ・お皿、コップ、食材、道具など、片付けの仕分けができるように分けておく。	○ままごととコーナー <ul style="list-style-type: none"> <li>・使いたいおもちゃの確認をしながら、入ってくる友達の役割分担をする子や、自分だけの世界で料理作りを楽しむ子など、いろんなやり取りをしながら、ままごと遊びを楽しむ。</li> <li>・使いたい物や探している物を自分なりに探すが見つけられない場合は、保育者にも相談して一緒に探してみる。</li> </ul> ○制作コーナー <ul style="list-style-type: none"> <li>・広告を細かく丸めたり新聞紙をじゃばら折りにしてリボンを作ったり、自分で出来る事を頑張ってみたりできる友達がいいたら、一緒に手</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者も一緒に遊びの中に加わり、言葉でのやり取りを楽しめるような関わりを持つ。</li> <li>・お客さんになったり、子ども達の気づきや感じたことに共感したり、「いい匂いがしてきましたね～」や「色合いがステキです」など、五感を通じて表現遊びに広げるような言葉かけをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの役になりきり、役になりきり、楽しんでいるか。</li> <li>・自分なりの表現で相手への気持ちを伝えているか。</li> </ul>

時間	環境構成	予想される子どもの姿	保育者の援助と配慮	評価の観点
9:30	〈各部屋〉 〈廊下〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・順次登園してきた子から荷物の片付け、着替えを済ませて、それぞれ遊びたい場所を見つけて遊ぶ。</li> <li>・室内では、ブロック遊びやままごと遊びなど、昨日の続きを楽しんだり、新しく物作りを考えたり友達に見せたり、一緒にやる？と誘う姿が見られる。</li> </ul> ○ままごととコーナー <ul style="list-style-type: none"> <li>・使いたいおもちゃの確認をしながら、入ってくる友達の役割分担をする子や、自分だけの世界で料理作りを楽しむ子など、いろんなやり取りをしながら、ままごと遊びを楽しむ。</li> <li>・使いたい物や探している物を自分なりに探すが見つけられない場合は、保育者にも相談して一緒に探してみる。</li> </ul> ○制作コーナー <ul style="list-style-type: none"> <li>・広告を細かく丸めたり新聞紙をじゃばら折りにしてリボンを作ったり、自分で出来る事を頑張ってみたりできる友達がいいたら、一緒に手</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着替えの際、難しく困っている園児には援助しながら、自分で出来る方法を伝えていく。</li> <li>・昨日の続きから、さらに発展しそうな材料や環境を提供したり、子ども達からの思いを引き出して遊びを広げていき楽しさを共感する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者も一緒に遊びの中に加わり、言葉でのやり取りを楽しめるような関わりを持つ。</li> <li>・お客さんになったり、子ども達の気づきや感じたことに共感したり、「いい匂いがしてきましたね～」や「色合いがステキです」など、五感を通じて表現遊びに広げるような言葉かけをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりに考えて挑戦したり行動しようとしているか。</li> <li>・子ども達同士のやりとりが増えているか。</li> </ul>
	〈廊下〉 ・台所セット ・おもちゃの食材 ・テーブル ・イス ・エプロン ・コック帽 ・お皿、コップ、食材、道具など、片付けの仕分けができるように分けておく。	○ままごととコーナー <ul style="list-style-type: none"> <li>・使いたいおもちゃの確認をしながら、入ってくる友達の役割分担をする子や、自分だけの世界で料理作りを楽しむ子など、いろんなやり取りをしながら、ままごと遊びを楽しむ。</li> <li>・使いたい物や探している物を自分なりに探すが見つけられない場合は、保育者にも相談して一緒に探してみる。</li> </ul> ○制作コーナー <ul style="list-style-type: none"> <li>・広告を細かく丸めたり新聞紙をじゃばら折りにしてリボンを作ったり、自分で出来る事を頑張ってみたりできる友達がいいたら、一緒に手</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者も一緒に遊びの中に加わり、言葉でのやり取りを楽しめるような関わりを持つ。</li> <li>・お客さんになったり、子ども達の気づきや感じたことに共感したり、「いい匂いがしてきましたね～」や「色合いがステキです」など、五感を通じて表現遊びに広げるような言葉かけをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの役になりきり、役になりきり、楽しんでいるか。</li> <li>・自分なりの表現で相手への気持ちを伝えているか。</li> </ul>



## 公開園【橘幼稚園】

○お店屋さんごっこ

運動会の表現発表で、はつぴを着て“お寿司屋さん”になった事をきっかけに、切れ端の紙を利用して、お寿司作りを始める。

「もつとご飯がふわふわがいい」と、子どもたちの声から、手拭きペーパーをそっと出しておくと、それに気が付いて「これを丸めよう！」と試してみる姿があった。以前は作って持って帰る事で遊びが完

成していたので、お店屋さん用に机を出すと、お寿司を片付ける為に「冷蔵庫が必要だね」「レジもあるね」とイメージを膨らませて新たな物づくりを始める。「お金があるね」と数字を書く事が得意な子がお金を作り出すと「私は数字はかけないからサービスマンを作る！」と絵をかいいたり、案内ポスターをかいいたり張り出したりとそれぞれが得意な事で遊びに参加しながら楽しんでいる。

また、家庭から、マクドナルドの広告を持ってきた子どもがきかけとなり、マクド屋さんごっこが始まり、「○○ちゃんはおテト作って」「僕は、ハンバーガー作るわ」と、自分たちで役割も決め、友達とイメージを共有しながら遊びを楽しんでいる。

<ねらい>

○友達と考えを出し合い、イメージを共有しながら遊びを発展させることの楽しさを味わう。

○秋の自然に興味を持ち、落ち葉などの自然物を遊びに取り入れて楽しむ。

○友達と思いやイメージを出し合いながら遊びこむことを楽しむ。

<内容>

○イメージしたものを工夫して作ったり、イメージを共有して遊びを楽しむ。

○ドングリや松ぼっくりなどの自然物を使っておもちゃ作りを楽しむ。

○友だちと一緒にイメージを出し合いながら、おうちごっこやお店屋さんごっこを楽しむ。

<内容選択の理由>

○今までは、イメージしたのを作ることに満足していた子ども達が、お店屋さんごっこ等を通して遊びが広がっていきうようになってきた。又、遊びが広がっていくことで、それぞれが自分の得意な事、興味を持った部分に参加することができ、人との関りが苦手な子ども遊びを共有することができ、コミュニケーション能力が楽しく身につきく様子がうかがえる。友達とイメージを共有したり、協力する中で遊びを進める楽しさを味わってほしい。

○おもちゃ作りでは、できた時の嬉しさや、それを使って遊ぶ楽しさを友達と共感し、もう一度やってみようという意欲に繋がってほしい。

【日 時】 令和6年10月31日（木曜日） 9時30分～10時30分

【対象児】 4歳児 すみれ組 19名（男児 12名 女児 7名）

ゆり組 18名（男児 11名 女児 7名）

【担任名】 すみれ組 森下 知美

ゆり組 大槻 智美

補助教諭 藤田 絵夢

【子どもの姿】

<子どもの生活の特徴>

○自発的に身支度ができるようになり、一日の流れを感じながら生活できるようになる。

○子ども同士で声をかけあったり助け合いながら過ごせるようになる。

○運動会を経験して、友達同士の繋がりが強くなり、クラス・学年のまとまりが出てきている。

○日常生活習慣を身に付け、自分で出来る事は自分でしようとする姿がある。

<発達の特徴>

○友達との結びつきが強まり自分なりにイメージを膨らませ友達と言葉で伝えあいがながら遊びを楽しむ。

○「お寿司屋さんごっこ」「マクド屋さんごっこ」などの遊びで、気の合う友達と考えを出し合いながら遊びを作る。

○ゲームや集団遊びに喜んで参加し、楽しみながら友達との関係を深めている。

<遊びの特徴>

○ケーキ屋さんごっこ（園庭）

一学期から園庭では、泥団子づくりや、お皿やカップを使っているご飯やケーキ作りを楽しんでいる。トッピングには、さら砂をかけてみる

子どもや、近くに落ちていた落ち葉に気づき「この葉っぱハートの形してる！」「これも飾ろう！」と友達と想いを伝え合いながら遊びを楽しんでいる。

○おもちゃ作り

秋の遠足や、お散歩で拾ってきたドングリ・松ぼっくり・貝殻などを保育室前の廊下に種類別にコーナーを作ったことで、秋の自然物を使いおもちゃ作りを楽しんでいる。

○おうちごっこ

一年を通して、量の部屋のスペースで、おうちごっこをする姿が多くみられ、おままごとしてお料理をしたり、赤ちゃん役のお友達にお料理を食べさせたりと、それぞれが役になりきって遊びを楽しんでいる。夏休み前に全員が聴診器をもらったことで、おうちごっこの遊びに病院ごっこ加わり、フライ返しで「口を開けて下さーい」と舌圧子に見立てたり、スプーンを注射器代わりにしたり、イメージして遊んでおり、他に何が必要か？と考え、ナースキャップや絆創膏などを一緒に準備していく事で、さらに遊びを楽しく進めていく様子がある。



時間	環境構成	予想される子どもの姿	保育者の援助と配慮	評価の観点
9:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケーキのトッピングに必要な自然物を用意しておく。</li> <li>〔ドングリ 松ぼっくり 貝殻 など〕</li> <li>・子どもが自分で遊びを展開しやすいように、コーナーごとに遊具をそろえておく。</li> <li>・おもちゃ作りコーナーを用意し、興味を持った子がじっくり取り組めるように準備しておく。</li> <li>〔ドングリ 松ぼっくり 落ち葉、貝殻 つまようじ 空き箱、毛糸 紙コップ、折り紙 新聞紙 など〕</li> </ul>	<p>○ケーキ屋さんごっこ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭に落ちている落ち葉や木の実に気づき、それらをトッピングに使って作る楽しさを味わっている。</li> <li>・水をくんでくる子やケーキの土台を作る子など、自分で役割を決め、友達と協力しながら遊びを楽しんでいる。</li> </ul> <p>○おもちゃ作り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「○○君の作ってるおもちゃ作ってみたい!」と、友達の姿にも興味を持ち、おもちゃ作りを楽しんでいる。</li> <li>・作りたい物をうまく作ることができず困っている子に「こうするんだよ」と教えてあげようとする姿がある。</li> </ul> <p>○お店屋さんごっこ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き箱などの廃材や、折り紙を使って、自分のイメージを形にしてその物を友達と共有しながら遊びを楽しんでいる。</li> <li>・店員と客の役割り分ける。</li> <li>〔段ボール、空き箱 新聞紙、折り紙など〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達が参加した時、イメージの違いから遊びが中断することがある。保育者が中に入り、お互いの気持ちを持ち聞き、遊びのイメージを近づけられるように援助する。</li> <li>・できた時の嬉しさや、それを使って遊ぶ楽しさを共感し、またやってみようという気持ちになつていくように援助を行う。</li> <li>・様々な素材や特徴を生かして、試しながら自分のイメージをジジしたものを作っているか。</li> <li>・友達の作っているおもちゃにも興味を持ち、自分から関わったり、良さを取り入れようとしているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりのイメージをもって、表現したり、作ったりしているか。</li> <li>・友達に自分のイメージを話しながら遊んでいるか。</li> <li>・様々な素材や特徴を生かして、試しながら自分のイメージをジジしたものを作っているか。</li> <li>・友達の作っているおもちゃにも興味を持ち、自分から関わったり、良さを取り入れようとしているか。</li> <li>・気の合う友達と、思いや考えを出し合って遊びを楽しんでいるか。</li> <li>・友達の思いや表情に気づいたりしながら遊んでいるか。</li> </ul>





## 公開園【橘幼稚園】

【日 時】 令和6年10月31日（木曜日） 9時30分～10時30分

【対象児】 5歳児 ゆき組 17名（男児 8名 女児 9名）

つき組 16名（男児 8名 女児 8名）

【担任名】 柴田真希 川北りか 補助教諭 鈴木礼芽

### 【子どもの姿】

#### <子どもの生活の特徴>

○生活に必要な習慣が身につき、一日の流れに見通しをもってお互いに声を掛け合いながら生活をしている。

○友達同士で遊ぶ楽しさを感じ、共感しあったり助け合い、認め合う姿がある。

○運動会を通して仲間意識が高まり、自信もついてきて何事にも根気よく取り組む姿が見られる。

#### <発達の特徴>

○友達と共通の目的をもって遊ぶ姿や、相談して遊びを深めていく姿がある。

○繰り返し遊びを楽しむ中、聞いたり、真似たり、教えあったり友達に関心が高まる中、気づいたことや発見したことを伝え合う姿が見られる。

○遊びの中で時に思いがぶつかったり、すれ違うこともあるが、自分たちで解決しようとしていたり友達が間に入ってくれることで相手を許そうとしたりするなどの姿がある。

#### <遊びの特徴>

##### ○ドッチボール

友達を誘い、ラインカーでコート作りをしたり、人数が均等になるようにチーム分けをしたりそれぞれが役割を持って遊びを始めようとする。人数が集まらなかった時にはキャッチボールや、おにごっこ遊びに切り替えるなど自分達で考えている。小さなお

友達がコートに入ってきたら「危ないよ。」と声をかけ気をつける様子も見られる。

##### ○秋見つけ

かたつむりやカブトムシの幼虫など季節によってさまざまな虫を家から持ってきて見せてくれる友達が数人いたことから、虫に関心をもち、捕まえた生き物をお世話をしたり、図鑑で調べたりする様子が見られる。カブラ遊びで虫の迷路を作り、虫の行動を観察する子どももいる。

幼稚園の園庭に様々な色や形の葉っぱがあったり、常に四季折々の自然がある。砂遊びで、落ち葉や木の葉などを使ってお料理を作ったり、様々な遊びに発展させている。

##### ○製作遊び

一人ひとりが思いを膨らませ形に表現する中で、繰り返し試行錯誤しながら多岐にわ



##### ○ごっこあそび

ごっこ遊びが大好きで、毛糸やフェルトを使ってラーメン屋さんを楽しんだり、新聞でマクドナルドの帽子を作り始めた事から、エプロンを作ろうとしたり、ハンバーガーやポテトなど食べ物を作っている、ごっこ遊びの準備から遊びまでを楽しんでいる。ひらがなを書いて看板作りをしたり文字への興味も高まっている。

##### ○カブラ遊び



どうすれば崩れずに高く積めるか、スムーズに組み立てるにはどうすればいいかを考え、失敗したり再挑戦し、高く積むことを繰り返し楽しんでいる。迷路を作ったり、沢山並べてドミノ倒しをしたり、色々な遊び方を楽しんでいる。

##### ○運動遊び

得意、不得意、発達の差がある中でも、友達が頑張りできた時の喜びをそばで感じ共感しあったり、自分もできるよになりたいという強い気持ちが芽生え、自ら進んで何度も挑戦する姿がある。

##### <ねらい>

○友達と考えや思いを伝え合い一緒に遊びを進めていく楽しさを感じる。

○素材や物の特徴に気づき自分なりに工夫する事を楽しむ。

##### <内容>

○身近な自然物や廃材などの素材を使って製作遊びをする。

○カブラ積み木を使って迷路や街づくりをしたり、高く積みあげること挑戦する。

○お店屋さんや、なりきりごっこなど、面白かった体験などのイメージを共有してごっこ遊びを楽しむ。

○鉄棒、マット、縄跳びなど自ら目標をもって運動遊びにチャレンジする。

##### <内容選択の理由>

○日頃から友達と一緒に生活をする中で、お互いに思いを伝え合ったり、時にはケンカをする中でお互いの気持ちに気づいたり、自分たちで遊びを進めようとする姿が見られる。その姿を大切にしたい。

○友達の頑張りが成長、喜びに共感し、また友達から刺激を受け、自分も挑戦しようとする過程を大切にしたい。



時間	環境構成	予想される子どもの姿	保育者の援助と配慮	評価の観点
9:30	<p>・好きなタイミミングで遊びが始められるように、ラインカーなど用具を用意しておく。</p>	<p>○ドッチボール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達同士で誘い合っ</li> <li>て遊びを始めた</li> <li>り、人数を調整しながらチームを分ける。</li> <li>・人数が集まるまでみんなで協力して声をかけ</li> <li>るが、集まらなかった時は鬼ごっこなどをして楽しむ姿が見られる。</li> <li>・小さい友達が近づいてきたら「あぶないよ」と声をかける姿が見られる。</li> </ul>	<p>・話し合い、自分たちで考えて行動しようとする姿を見守り、必要に応じて話に加わり、友達同士の思いをつないだり、必要に応じて問いかけをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者も一緒に参加し遊びの楽しさを共有する。</li> <li>・水分補給もしつかりとるように見守り、声かけをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のしたいことを伝えたり、友達の思いに耳を傾けようとしているか。</li> <li>・ルールの共有をしているか。</li> </ul>
	<p>・虫かごを用意したり、見つけた自然物を入れるため牛乳パックなどを用意しておく。</p>	<p>○秋みつけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・散歩の時や園庭で思</li> <li>い思いに生き物を探すことを楽しむ。</li> <li>・捕まえた生き物をその場で図鑑で調べたり、飼育しようと飼育環境を整え、お世話をしようとする。</li> <li>・ドンダリや落ち葉などを集め大切に保管したり、それを使って何をしようかとイメージを膨らませる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・捕まえた喜びを共感し生き物への接し方や飼育の仕方を一緒に考える中で大切に</li> <li>にお世話ができるようにする。</li> <li>・見つけた自然物の美しさなどを共感し遊びに発展できるよ</li> <li>うに言葉で補ったり必要に応じて提案したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四季の変化に気づいたり自然の不思議や面白さに気づいたり身近な自然を取り入れ、遊びに楽しさを感じようとしているか。</li> </ul>
	<p>・自然物や廃材、またその素材に合わせた道具などを整えておく。</p>	<p>○製作遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な素材や自然物を見たり、触れたりする中で、作りたいものについて、作りやすいものを選び、浮かき表現して楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれが想像し、夢中になって作る姿を認め、工夫しているところを具体的にほめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの素材の特徴に気づき、必要な素材や道具を選んでいるか。</li> </ul>

<p>・完成した達成感を友達と一緒に味わえるように、完成した作品を飾れる場所を確保しておく。</p>	<p>・友達が作っているものを見て「私も」と真似てさらに自分なりの工夫をしてみたりアレンジする姿も見られる。</p>	<p>・友達が作っているものが難しい子には、イメージが広がるように質問をしたり言葉がけをする。</p>	<p>・思いを形にするのが難しい子には、イメージが広がるように質問をしたり言葉がけをする。</p>	<p>・試行錯誤し工夫する姿が見られるか。</p>
<p>・子どもと一緒に必要な物を考え、素材や用具を準備する。</p>	<p>・子どもと一緒に遊ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経験したことや大人の姿を思い浮かべ、友達と分担をして、遊びに必要な物を自分たちで作ったり、周りにあるおもちゃを探して試行錯誤する姿が見られる。</li> <li>・友達とたくさん会話を楽しみ、なりきりごっこを楽しむ。</li> </ul>	<p>・子どもたちで作る世界観を尊重し見守る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達とイメージがずれ違ったり、ぶつかってしまったり、異なる気持ちがある事になる</li> </ul>	<p>・子どもたちで作る世界観を尊重し見守る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達とイメージがずれ違ったり、ぶつかってしまったり、異なる気持ちがある事になる</li> </ul>	<p>・友達に思いや考えを伝えながら相談しながら楽しめているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイディアを提案し、認め合っているか。</li> </ul>
<p>・カプラで作る街や世界が広げられるように広い場所を確保しておく。</p> <p>・タワーを作る子のために跳び箱など安定感のある足場になるような台を準備しておく。</p>	<p>○カプラ遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「天井まで高く積みた」や「大きな町を作りたい」などそれぞれが思いを形にしようとしてドキドキしながら慎重に積み重ねたり、同じ目標を持った友達と会話し工夫する姿も見られる。</li> <li>・崩す時のドキドキと音を楽しみ、またもう一度やってみようとして試行錯誤する。</li> </ul>	<p>・室内でカプラ以外の遊びをしている子が近づいて覗いてしまったり、また、台に乗っている子が転倒しないように見守る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高く積み、また、途中で壊れることがないようにはどうしたらいいかを子どもたちが考え問</li> </ul>	<p>・友達とイメージを共有し協力して楽しもうとしているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出来るまで何度も挑戦する姿が見られるか。</li> </ul>	<p>・友達とイメージを共有し協力して楽しもうとしているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出来るまで何度も挑戦する姿が見られるか。</li> </ul>



## 公開園【橘幼稚園】

	<p>・鉄棒、マットなどの必要なものをよく目につく所に配置しておく。</p> <p>・周りに危険な物がなければ確認しておく。</p>	<p>○運動遊び （鉄棒）</p> <p>・逆上がり、連続逆上がり、空中逆上がりなど、それぞれ目標に向かって何度も繰り返し鉄棒にチャレンジする姿が見られる。</p> <p>・自分で考えて整列し順番を守ったり、ぶつからないようにする姿が見られる。</p> <p>・友達から刺激を受け「私もできるようにになりたい。」と向上心が見られる。</p>	<p>題を解決できるように問いかける。</p> <p>・個々の発達に応じて補助をする。</p> <p>・頑張る過程をほめて認める。</p> <p>・危険のないように見守る。</p>	<p>・正しく棒を握り自分なりに安全を考えて行動できているか。</p> <p>・友達の頑張りを認めつつ挑戦する心が育っているか。</p>
<p>・床が濡れていて滑って転倒しないようにする。</p>	<p>（なわとび）</p> <p>・縄が引つかかって止まる事がないように周りに注意しながら目標に向かって縄跳びに乗り込む。また、引つかかってもあきらめず何度も繰り返し挑戦する姿が見られる。</p> <p>・自分のことのように友達の頑張りを応援したり、数を数えてあげる友達同士の関わりも見られる。</p>	<p>・必要に応じて数を数えたり、見守る。</p> <p>・全体への目標にかかわらず個々の成長に応じて頑張りを認め、ほめる。</p>	<p>・目標をもって頑張る中で持久力が育っているか。</p> <p>・なわとびにチャレンジ中の友達を応援したり危険のないように配慮して遊んでいるか。</p>	

【日 時】 令和6年11月26日（土曜日） 9時30分～10時40分  
 【対象児】 0歳児 うめ組（男児5名 女児3名）1歳～1歳7か月  
 【担任名】 上村朋香 北川千尋 安瀬温子

#### 【子どもの姿】

＜子どもの生活の特徴＞

◎1歳0か月～1歳2ヶ月

○食事や補食を見るときは、お友だちと一緒になり、保育者に食べさせてほしいと催促したりしてくる。

○保育者に言葉をかけられながら、オムツを替えてもらいたい地よく過ごしている。

◎1歳4か月～1歳7か月

○保育者が食事の準備をし、誘いをけると「はいーい」と元気よく手をあげ、自分から手洗いやテーブルに向かう姿が見られる。こぼしながらも手づかみやスプーンを使って意欲的に食べたり、自分でコップを持って飲んだりしている。

○オムツ交換の際には、保育者の言葉がけにより足をあげる、ズボンを上り下りするなど自ら身体を動かそうとする姿が見られる。

○戸外遊びに誘うと、保育者の元に帽子を取りに来たり、玄関で自分の靴を出し履こうとしたりする。

＜発達の特徴＞

◎1歳0か月～1歳2ヶ月

○保育者との愛着関係ができ、安心して好きな遊びを楽しんだり、触れ合って関わりを楽しんだりしている。見聞けない人がいると、じっと顔を見たり担任にくっついていたりして人見知りも見られる。

○ハイハイや伝い歩き、歩行などで行きたい場所へ移動している。

◎話しかけた時、歌を歌ったりすると笑顔が見られる。

◎1歳4か月～1歳7か月

○歩行が安定してきた子どもは行動範囲が広がり、好きな玩具や興味のある場所に向かい探索活動を楽しんでいる。

○一語文や喃語、表情や身振りで自分の思いを保育者に伝えようとしている。また、保育者に絵本を読んでもらうことを好み、聞いた言葉を真似するようになっている。

○動物や自然物、車などに興味を持ち、指差ししたり、触れようとしたりする姿が見られる。

＜遊びの特徴＞

○身体を使った遊び（斜面やマットの山を上り下りする、トンネル、段ボール車を引くなど）

・歩行が安定した子どもは、ボール車や階段や斜面を上り下りしたり、トンネルをくぐったり、段ボールの車に乗ったり引くなどして様々な動きを楽しんでいる。

・ハイハイ、歩き始めた子どもは身体を動かして楽しむようになり、トンネルに入ったり、トンネルを出たり、斜面を登ったりしている。

・風船やボールを使って、追いかけて投げたりして楽しんでいる。

○身近な人と関わる遊び（まごど、絵本、触れ合い遊びなど）

（まごど）

・お皿とスプーンを持ってぐもぐも食べる真似をしたり、コップを持ってお友だちと乾杯したりしている。

・水道で手を洗ったり、人形をトントントンしたり、だっこするなど身近な体験を模倣して楽しんでいる。

・かばんを持って「ハイハイベイベー」とお出かけを楽しんでいる。

（絵本）

・好きな絵本を出してきて自分で見たり、保育者の元に「よんでー」と持って来て一緒に見たりしながら指差し、言葉を真似したりしている。また、絵本に合わせて歌を歌ったり、お気に入りのフレーズを声に出したりして動きも覚えて楽しんでいる。

（触れ合い遊び）

・保育者や友だちと物の陰に隠れて「いないいないばあ」をしたり、「一本橋こちょこちょ」など、手遊び、体操などで触れ合い遊びをしたりして楽しんでいる。



○身近なものに関わる遊び（指先を使った遊び、音を出す遊び、感触遊びなど）  
 （指先を使った遊び）

・ビーズボードで引く張る、回す、鳴らすなど繰り返して楽しんでいる。

・ぼつとん落としでは、様々な形、感触の物を穴に入れ楽しんでいる。

穴に入るよう持ち方を変えたり、物の向きを変えたり、押し込んだり、ためしたりする姿が見られる。また、いっばいになると保育者の元へ持ってきて「あーけーでー」と言う子もいる。

（音を出す遊び）

・ドングリやビーズの入ったペットボトルを、マラカスのように振り、音を楽しんでいる。

・ゴムで結ばれたペットボトルのキャップやビーズを指先でつまみ離した時の「カンカン」「パチンッ」という音を繰り返して楽しんでいる。

（感触遊び）

・センサリーマットを手や指先で触ったり足で踏んだりし、「ふわふわ」「いててて」などの言葉を発し感触を楽しんでいる。

・センサリーボールを握ったり転がしたりしながら、キラキラ動くものを眺め、不思議な液体を目で追って楽しんでいる。



＜ねらい＞

○保育者と一緒に身体を動かす楽しさを味わう。

○安心して身近なものに興味・関心を持ち、音や色・感触を味わったり、探索活動を楽しんだりする。

○保育者との安定した関係のもと、思いを身振や表情、発声で伝えようとする。

＜内容＞

○マットの山、トンネル、ボール遊びなどの身体を使った遊びを楽しむ。

○ぼつとん落とし、ビーズボード、積み木など、指先を使って遊ぶ。

○動物や車、歌の絵本などを保育者と一緒に楽しむ。

＜内容選択の理由＞

○保育者との安心できる関係性を基盤に、身の回りのものに興味、関心を持ち、自分の好きな遊びを楽しむ。  
 様々なものに触れる中で、不思議さや面白さ、心地よさを感じてほしいと考えている。

○入れる、出す、引っ張る、投げるなどの探索活動を十分に楽しんでほしいと考えている。

○保育者と触れ合うことに心地よさを感じたり、模倣することを楽しんでほしいと考えている。





# 公開園【タンポポこども園】

・お皿 ・コップ ・フライパン ・やかん ・スプーン ・コンロ ・シンク ・かまぼこ	・コップを並べ友達と乾杯したり、飲む真似をする。 ・シンクで手を洗う真似をする。 ・かまぼこ掛けから、かまぼこを取り「パイクーイ！」とお出掛けごっこをする。  ○絵本 ・絵本冊から好きな絵本を取り、保育者の元へ「よんで」と持ってくる。 ・一緒に見ながら、動物の名前、車の名前などを真似して声に出したり、指差ししたりする。 ・もう一回読んで欲しいことを動作や声で伝えようとする。	食べる真似をして「おいしいね！ごちそうさま。」と子どもたちの姿に合わせて言葉かけをする。また、子ども同士の関わりも見られるようになっているので、「一緒に乾杯する？」など誘いかけ、やり取りが楽しめるようにする。	・友だちの動きに興味を持って見たり笑ったりしているか。  ・指差ししたり、声を出したりして、保育者と一緒に絵本を見ることができているか。 ・好きなフレーズを声に出したり、動きを真似したりして楽しんでいるか。  ・保育者との触れ合いを喜び、嬉しそうなお顔をしたり、動きやフレーズを真似して楽しんでいるか。 ・おもしろさ、楽しさを感じ、笑顔になったり保育者に視線を向けたりしているか。  ・様々な素材に興味を持ち、自ら触れて感触を楽しんでいるか。  ・音が鳴ると、嬉しそうに音に合わせて身体を動かしたりして楽しんでいるか。
◎手遊び歌 ・一本橋こちょこちょ ・はたらくくるま ・ピカピカパブー！ ・こつちむいてうさぎさん ・くいしんぼうのゴリラ ・ミックスジュース ◎にらめっこ	・保育者が口ずさむ歌を聞くと、身体を揺らしたり、動きを真似して楽しんでいる。 ・保育者と触れ合っ遊ぶことを喜ぶ。 ・もう一回して欲しいことを身振りや声で伝えている。	・「ゴリラさんだね」など持ってきた真実を見て、子どもの反応を見ながら歌う。 ・表情豊かに歌ったり、優しく身体を触ったりして心地よさが感じられるようにする。 ・歌に合わせて身振り手振りをしたりして一緒に楽しむ。	・「ふわふわだね」「いってだね」「ぶにぶにだよ」など応答し感触を言葉で伝える。 ・手作りのおもちゃは誤飲の危険がないよう、テープや接着剤で液が漏れないようにする。
◎センサリーマット ・スポンジ ・保冷剤 ・クッション ・芝生 ・足つぼ など ◎センサリーボトル ・マラカス	・マットの上を歩いたり、手のひらや指先で感触を楽しむ。 ・「ふわふわ」「いってて」など声を出しながら、繰り返し触る。 ・ボトルを振ったり、転がしたりして遊ぶ。  ○音の出る遊び ・音の鳴る玩具を手を持ち、音を鳴らすことを楽しむ。また、保育者が歌を歌うと、タイミンングを真似して音を鳴らすようにする。	・「ふわふわだね」「いってだね」「ぶにぶにだよ」など応答し感触を言葉で伝える。 ・手作りのおもちゃは誤飲の危険がないよう、テープや接着剤で液が漏れないようにする。	・「いい音が鳴るね」「シャカシャカ音がするね」と言葉を掛けたり、保育者と一緒に音を鳴らして楽しむ。

環境構成	予想される子どもの姿	保育者の援助と配慮	評価の観点
【ホール】 様々な動きが楽しめるよう 寝具やマットに合わせた遊具 を組み合わせる。 ・マットの山 ・トンネル ・段ボールの車 ・アグティフ平均台 ・鉄棒 など	○身体を使った遊び ・斜面やマットの山を歩いたり這ったりして上り下りする。 ・保育者が呼びかけると嬉しそうにハイハイしてトンネルをくぐっていく。 ・段ボールの車に乗ったり、友だちの乗った車を引っ張ったりする。 ・1歳児クラスの友だちが鉄棒にぶら下がる姿を見て、挑戦してみようとする。	・子どもが自ら身体を動かそうとする意欲が芽生えるように優しく笑顔で誘いかけたり、子どもたちと一緒に身体を動かして楽しむ。 ・手を伸ばして助けを求める時は、タイミンングよく手を繋ぐなどする。 ・のびのびと身体を動かす、十分に楽しめるように配置を工夫する。	・上り下り、くぐり、引っ張る、走るなどの身体の動きを自らしているか。 ・保育者に誘いかけられても、いざ身体を動かすことを楽しんでいないか。 ・見てほしい時や手助けしなくても保育者に視線を向けたり、発声して伝えようとしているか。
【0歳児保育室】 【乳児テラス】 子どもの発達や興味に応じた環境を整え、好きな玩具を選んで遊べるように、コーナーの位置や玩具の置く場所に配慮する。	・保育者の膝に座って甘えたり、好きな遊びを見つけて遊び出したりする。 ・保育室にテラスを歩き来ながら、好きな場所へ玩具を持ち運んで遊ぶ。  ○指先を使う遊び ・ほつとん落としを持って保育者にふたを開けてほしい事を仕草や発声で伝える。 ・入れるものや穴に合わせて、向きを変えたり、入れ方を繰り返しながら繰り返して遊ぶ。 ・箱積み木を積みだり倒したりして遊ぶ。 ・ビジーボードのところに引き、引っ張る、回す、鳴らすなど繰り返し触る。	・「入ったね」「いい音がしたね」と広範囲な関わりをし、喜びを共有する。 ・ふたを開けて欲しくて待つてきた時には、見本を見せ言葉にして伝える。 ・集中している時は傍で見守り、うまく入らない時はすぐに手を出さず、助けを求めたタイミングで手助けをする。	・穴に入るよう、入れる物の向きを変えたり、力を入れたりしていろいろな楽しさを味わっているか。 ・繰り返し遊びを楽しんでいるか。 ・自分の要求や思いを表情や身振り、発声で伝えようとしているか。
生活で使っているものや親しみを持った遊びを準備する。	○ままごと ・お皿とスプーンをもって食べる真似をしたり、友だちや保育者に「あーん！」と食べさせようとしたりする。	・子どもが差し出すものを「あーんがとう！おいしそう！いただきます」と受け取ったり、楽しんでいるか。	

【日 時】 令和6年11月26日（火曜日） 9時30分～10時40分

【対象児】 1歳児 もも組（男児7名 女児7名）

【担任名】 山内千尋 山崎未羽 武藤朝恵

#### 【子どもの姿】

＜子どもの生活の特徴＞

○ズボン、靴の着脱など、簡単な身の回りのことをやろうとする姿が増えてきた。一人では難しい子もいるが、保育者に援助され出来る部分は一緒にやってみようとしている。

○排泄後、出たことを伝えられる子もいる。

○手づかみやスプーン、フォークを使い意欲的に食べる姿が見られる。苦手な食材もあるが、友だちの食べている姿を見たり、保育者の促しの声掛けで食べられるものが増えてきた。

＜発達の特徴＞

○大人の言葉を真似たり、知っている言葉で簡単なやりとりを楽しめるようになってきた。保育者に見守られながら、欲しいものがある時には「ちょうだい」「ありがとう」などのやりとりをする姿も見られる。

○自我が芽生え、したいこと、したくないことなど気持ちを伝えようとする姿が見られる。思いが通るまで泣き続けることもあるが、保育者に思いを受け止めてもらい、落ち着くことが出来る。

○友だちのやっていることに興味をもち、同じ遊びを楽しむ姿が見られるようになってきた。

＜遊びの特徴＞

○運動遊び

・保育者とのおいかっけこやブランコ、すべり台など身体を動かす遊びが好きで、園庭の運動エリアで楽しむ子が多くいる。園庭より広いホールに環境を用意すると、走る、斜面上り下り、くぐる、ジャンプや鉄棒のぶら下がりなど全身を使った動きを楽しんでいる。トンネルをくぐった先に保育者を見つけ「せんせい、ばあ〜」というやりとりも繰り返して楽しむ姿がある。

○まごごと遊び

・お皿や鍋に食べ物を入れ、机に並べたり、保育者に「せんせい、どうぞ」と渡す姿がある「どうぞ」「ありがとう」など、繰り返しの簡単なやりとりを遊びの中で楽しんでいる。水道のところで手を洗う真似をしたり、スポンジでお皿を洗うなど生活の中で見た、経験したことを遊びの中でも楽しむ姿が見られる。

・人形を使った遊びでは、おんぶや抱っこをしたり、ミルクを飲ませたり、お世話遊びを楽しむ。高月齢児は「あかちゃん、ないてるの」「おなかすいたんだって」などまごごと遊びに繋がっている子もいる。

○転がし遊び(ペットボトルスロープ)

・転がる様子を観察しながら、繰り返してボールを転がす。遊び方も子どもによって様々で、手だけでなく、おたまたなどの道具を使ったり、大きい入れ物にたくさんボールを入れ一気に転がして楽しむ姿もある。



#### ○新聞紙ボールプール

・新聞紙を使った遊びでボールを作ったことをきっかけに、投げたり、転がしたり、転がしを思い切り楽しめるスペースとしてボールプールを作った。好きな色のボールを集めたり、上部に設置したゴールにボールをいれて楽しむ姿もある。遊ぶスペースとしてだけでなく、寝転がってくつろいでいる子もいる。



○ブロック、積み木遊び

・ブロックを繋げて車を作り、「ブーブー」と言って走らせて遊んだり、大きいクラスの子を真似て、長く繋げ「バンバン」と言って楽しんでいる。

・箱ブロックを、横に並べて「おうちやよ」と家に見立てて楽しむ。作る過程で並べ方や積み方で友だちとトラブルになることもあるが、保育者が一緒に遊ぶことで落ち着き、一緒に楽しむことができる。

・途中で倒れてしまうこともあるが、何度も積み木を積み上げ、集中して遊ぶ。高く積み上げると「じょうず」と言いながら拍手をし、笑顔が見られる。



○絵本

・絵本コーナーにある椅子に座って絵本を見たり、保育者のところに絵本を持ってきて「よんで」と保育者と一緒に楽しむ姿がある。また同コーナーにあるクッションに寝転がり、くつろぐ姿も見られる。

＜ねらい＞

○全身を使って、体を動かすことを楽しむ。

○保育者や友だちに関心を持ち、簡単なやりとりを楽しむ。

○自分の思いを表情、身振り、言葉で伝えようとする。

＜内容＞

○全身を使い、ボールで運動あそびを楽しむ。

○まごごと遊びや絵本など遊びを通して、表情や身振りで思いを伝えようとしたり、言葉で簡単なやりとりを楽しむ。

＜内容選択の理由＞

○歩行も安定し、全身の筋肉が発達してくる時期なので、遊びを通して楽しく体を動かせる経験を積み重ねてほしいと考えている。また、できなかったことができるようになった喜びも感じてほしい。

○友だちの存在を気にするような姿が増え、個々の遊びから、同じ空間で遊ぶ姿が増えてきた。言語の発達も一語文から二語文へと成長する時期でもあるので、保育者も一緒に遊ぶ中で、遊びを通して関わりが増えたり、やりとりの楽しさを感じてほしいと考えている。





<p>思う存分遊びを楽しめるよう、ボールを準備する。</p>	<p>○転がし遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転がすの遊びを見ながら、繰り返し遊ぶ。おたまたま、カポップなどの道具を使い転がす子もいる。</li> </ul>	<p>・繰り返し遊びを十分に楽しめるように、様子を見守り、満足できるまで遊ぶようにする。</p>	<p>・繰り返し遊びを十分に楽しめるように、様子を見守り、満足できるまで遊ぶようにする。</p>	<p>・繰り返し遊びを十分に楽しめるように、様子を見守り、満足できるまで遊ぶようにする。</p>
<p>足元が不安定になるので、安全面を考慮し、設置する。</p>	<p>○新聞紙ボールプール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お気に入りの色を集めたり、上部に設置したゴールめがけてボールを投げつけて楽しむ。ボールが入ると、拍手をして喜び姿もある。</li> <li>・ボールプールの中に寝転び、ゆっくり過ごす。</li> </ul>	<p>・色に興味がある子もいるので「あか」「あお」など色を言いながら一緒に遊ぶ、楽しい、嬉しい気持ちを共感し、安心して遊びを楽しめるようにする。</p>	<p>・色に興味がある子もいるので「あか」「あお」など色を言いながら一緒に遊ぶ、楽しい、嬉しい気持ちを共感し、安心して遊びを楽しめるようにする。</p>	<p>・色など、興味のあることを保育者に伝えたり、一着に言葉にして楽しんでいるか。</p>
<p>選択して遊びを楽しめるよう玩具を用意し、落ち着いて遊べるスペースを作る。</p>	<p>○ブロック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Bブロック</li> <li>・箱ブロック</li> <li>・レゴブロック</li> <li>・積み木</li> </ul>	<p>・上手く繋げられないときも「一緒にする？」と声をかけ、思いを受け止めながら、楽しく作れるようさりげなく手伝う。</p> <p>・「上手に積めたね」と嬉しい気持ちを共感し、じっくり遊びを楽しめるよう傍で見守る。</p> <p>・お互いのやりたい気持ちを言い止める、「同じの欲しかったね」など気持ちを代弁する。</p>	<p>・上手く繋げられないときも「一緒にする？」と声をかけ、思いを受け止めながら、楽しく作れるようさりげなく手伝う。</p> <p>・「上手に積めたね」と嬉しい気持ちを共感し、じっくり遊びを楽しめるよう傍で見守る。</p> <p>・お互いのやりたい気持ちを言い止める、「同じの欲しかったね」など気持ちを代弁する。</p>	<p>・車、家などの子なりのイメージを持って遊んでいるか。</p> <p>・嬉しかったり、悲しかったりする気持ちを保育者に表情や身振りで、言葉で伝えていくか。</p> <p>・嫌な時は「いや」と行動や言葉で思いを示し、自己主張をしているか。</p>
<p>落ち着いて絵本を楽しむように、椅子やクッションを置く。</p>	<p>○絵本</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本棚から好きな絵本を選び、楽しんで見る。</li> <li>・見たい本を保育者に「よんで」と持って来て、一緒に絵本を楽しむ。</li> </ul>	<p>・絵本と一緒に見てほしい気持ちを丁寧に受け止める。</p> <p>・本の言葉を一語言ったりして、楽しさを共有する。</p>	<p>・絵本と一緒に見てほしい気持ちを丁寧に受け止める。</p> <p>・本の言葉を一語言ったりして、楽しさを共有する。</p>	<p>・表情や身振り言葉で、保育者に読んでほしい思いを伝えていくか。</p> <p>・指さしたり、繰り返しの言葉や好きなフレーズを真似して、楽しんでいくか。</p>

環境構成	予想される子どもの姿	保育者の援助と配慮	評価の観点
<p>楽しく体を動かせるように、発達段階にあった遊具を用意する</p> <p>【ホール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マットの山</li> <li>・トンネル</li> <li>・鉄棒</li> <li>・アクティビープラト</li> <li>・段ボールの車</li> </ul>	<p>○運動あそび</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マットの山にハイハイや保育者と手を繋いで登り、上からジャンプしたり、すべり台のようにして滑って楽しむ。</li> <li>・トンネルの反対側に保育者を見つつけ「せんせい おーい」と手を握ったり、「ばあー」と顔を覗かせ保育者の反応を楽しむ。</li> <li>・友だちが鉄棒にぶら下がっているのを見て、同じようにやってみようとする。「せんせい みて」と保育者に見てほしいことを伝える。</li> <li>・足元を見てバランスを取りながら平均台の上を歩く。一人で難しい子は、保育者と手を繋ぎやってみようとする。</li> <li>・段ボールの車に入り、保育者や友だちに引っぱってもらいながら楽しむ。中に入って寝転ぶことを楽しむ子もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一緒に体を動かすことを楽しみ、子どもたちが「やってみたい」と思えるような姿を見せる。</li> <li>・「一緒にやりたい」などの思いがある時は丁寧に受け止め、安心して遊べるように寄り添う。</li> <li>・「できたよ」「みて」の気持ちに丁寧に答え、喜びや満足感を感じられるように関わる。</li> <li>・安全に遊びが楽しめるよう、各遊具の所で見守る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かして遊ぶことを楽しんでいるか。</li> <li>・「ばあ」など保育者との関わりを、楽しんでいるか。</li> <li>・表情や身振り言動で、保育者に思っていることを伝えているか。</li> </ul>
<p>【一歳児】</p> <p>ももぐみ保育室</p> <p>見立て遊びが楽しめるような玩具や人形を用意する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お皿・コップ・鍋</li> <li>・おたま・スプーン</li> <li>・お弁当箱・お盆</li> <li>・食べ物・レンジ</li> <li>・人形・おんぶ紐・布</li> </ul>	<p>○まもごと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お皿や鍋に食べ物を入れ、机に並べたり、保育者の所に「せんせい どうぞ」と持ってきて来たりする。「どうぞ」「あら」となど、繰り返しの簡単なやりとりを楽しむ。</li> <li>・水道の所で手を洗う真似をしたり、スポンジを使ってお皿や食べ物を洗ったりする。</li> <li>・レンジの中に食べ物を入れたり、出したりを楽しくする。高月齡児は「あついろ」などレンジから出した食べ物もを保育者に見せる姿もある。</li> <li>・人形を抱っこしたり、ミルクを飲ませる真似をして、お世話遊びを楽しむ。</li> <li>・中には人形の扱いが分らず、振り回したり、投げてしまいう子もいる。</li> <li>・高月齡児は「あかちゃんないてるの」「おなかすいたんだって」と言う子もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あらがどう」「おいしう」など子どもたちのやりとりを楽しめるようにする。</li> <li>・言葉でやりとりが楽しめる子には、「これは何のごはん？」「遊びや、やりとりが広がられるような関わりをする。</li> <li>・遊びの様子を見守り、「見て」のアピールをして来た時には、「きれいになったね」「あらがどう」など遊びが楽しくなるような声をかける。</li> <li>・見立て遊びを十分に楽しめるように、子どもの言葉や行動に共感し、応答に関わる。</li> <li>・保育者が遊びのモデルになるように、一緒に遊ぶ中で、人形の扱いを見せる。</li> <li>・子どももつイメージを大切に、やりとりを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごはんを作ったり、作ったものを保育者に渡したり、見立てあそびを十分に楽しんでいるか。</li> <li>・保育者や友だちと一緒に遊びをしようとして、思いを伝えようとしていたり、言葉でのやりとりを楽しんでいるか。</li> <li>・お皿洗いやレンジを使っての遊び、人形遊びなど、見たこと、経験したことをその子なりにイメージして楽しんでいるか。</li> </ul>



【日 時】 令和 6 年 11 月 26 日（火曜日） 9 時 30 分～10 時 40 分  
【対象児】 2 歳児 すみれ組（男児 4 名 女児 12 名）  
【担任名】 山本多美枝 竹原芽衣 杉田恵理

#### 【子どもの姿】

##### <子どもの生活の特徴>

- 1 目のおおまかな流れが分かるようになり、食事前には手洗いや消毒をしエプロンを付ける、外遊びの前に着替えを用意し、帽子をかぶる、片付けをしたらおやつを用意など見通しを持って生活している。
- トイレや着替える際は自分で衣服を脱ぎ、裏返ったズボンを直したり、難しい時は手伝ってもらったりしながら、自分でもしてみようとする姿がある。
- 尿意を感じ自らトイレへ行く子、促されて脱がは出る子、出なくとも座ってみる子どもなど個人差がある。
- 食事面はメニューによって「ちよっとにする」など要求を伝え、量を調節してもらいながら楽しく食べている。白菜やブロッコリー、ラディッシュなど野菜の栽培をして成長を喜び、調理してもらい食べることを楽しみにしている。

##### <発達の特徴>

- 気の合う友だちとごっこ遊びや見立て遊びを楽しむ、言葉でのやりとりも充実してきている。なかには「貸して」「いいよ」「あとで」など言葉で言えず取り合いになることもあるが、保育者に仲立ちしてもらい、自分で気持ちを伝えようとする姿も見られる。
- 友だちの姿を見て「やってみたい」「同じの作りたい」と模倣や共有する楽しさを感じている子もいる。
- 言葉が増え要求や感じたこと、経験したことなど自分なりの言葉で伝える姿が増えている。

##### <遊びの特徴>

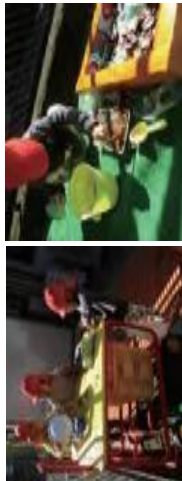
- ままごと
- ・食べ物や食べ物に見立てた物をお皿や容器に入れ、保育者や友だちに「どうぞ」とごちそうしたり、赤ちゃんの人影に食べさせたりして楽しんでいる。
- ・エプロンを付けてお母さんになったり、お部屋さんになりきってごちそうを作ったりして、楽しんでいる。
- ・毛糸をラマーマンや熊きそばに見立てて食べる真似をしたり、色付きのキャップをトマトやブドウ、たまごに見立ててお弁当を作ったり、ピクニックや遠足など自分の経験したことを遊びに取り入れながら楽しんでいる。
- ・以前は玩具の食べ物を皿に盛るだけだったが、画用紙、お花紙、折り紙などを使い保育者に手伝ってもらいながら食べ物を作ることを楽しむ姿もある。
- ・以前は玩具を持って遊んでいるだけの子どもが多かったが、見立て遊びなど玩具を使って遊べるようになってきている。
- ままごと（人形あそび）
- ・「赤ちゃんお腹すいたって」「うんち出たって」とご飯やミルクを食べさせてゲップをさせたり、お尻をお腹すいたりお風呂に入れたるなどお世話することを楽しんでいる。
- お医者さんごっこ
- ・「どうしましたか」「お熱がありますね」と声をかけながら注射や検温をしたり、薬を塗ったり、飲ませたりして、知っている言葉を用いてやりとりしながらなりきりすることを楽しんでいる。
- ・「お腹が痛いです」「お熱があるみたいですよ」と患者になりきり、しんどそうにしたり寝転んで診察してもらうなど経験をもとに再現しながら楽しんでいる。



- 転がし遊び・砂遊び・自然物・虫探し
- ・どんぐりやまつぼっくり、葉っぱなどを雨どいやペットボトルのコースに転がし、転がる様子を目で追ったり速さの違いや音を面白がったり、転がらない物もある事に気付く様々な素材を試している。
- ・転がりにくい物は水と一緒に流す、再度追加で転がして押し出そうとするなど、自分たちなりに考えて試してみる姿もある。
- ・砂を容器に入れてアイスクリームやカップケーキに見立てて食べる真似をして、「いっしょにやいませ」「アイスクリームですー」とお部屋さんとお客さんになってやりとりを楽しんでいる。



- ・自然物を使って飾り付けやお金に見立てるなど身近な物を遊びに取り入れて遊んでいる。
- ・自然物を肉や調味料に見立てたり、自然物+水や自然物+土など組み合わせ混ぜたり感触が変わることも楽しんでいる。
- ・葉っぱの影や芝生の真など虫がいそうな所を探し、見つけたら保育者や友だちに知らせ、観察したり容器に入れて大事にしている。



- お絵かき・物づくり
- ・好きな色のクレヨンで線や点を描くなどイメージしたものを自分なりに描こうとする。
- ・ハンバーガーやアイスクリーム、スマボンなど、手伝ってもらいながら画用紙や折り紙を丸めたり、ちぎったり、貼り合わせたりして作ることを楽しんでいる。
- ・紐に通けたことを喜んで見せたり、通せたものが抜けてしまい悔しがったりしながら何度もやってみようとする。出来上がった物を引っ張って強い力、ネックレスやブレスレットにしたりとおしゃれを楽しんでいる。

##### <ねらい>

- 保育者や友だちとやりとりを楽しみながら、ごっこ遊びや見立て遊びを楽しむ。
- 身近な物や自然に興味を持ち、見たり触れたり作ったりして楽しむ。

##### <内容>

- ごっこ遊び（ままごと・病院・お店・赤ちゃんのお世話）をする。
- 自然物など様々な素材を使って、ごっこ遊びや転がし遊びをする。
- お絵かきや紐通し、物づくりなどを楽しむ。

##### <内容選択の理由>

- ごっこ遊びが好きで経験したことを取り入れながら楽しむ姿があり、よりイメージしながら楽しめるよう環境を充実させることで、なりきりして遊び、保育者や友だちとやりとりを楽しんでほしいと考えている。
- 様々な色や自然物に興味を持ち、拾ったり集めたりして遊びに取り入れる姿がある。自分なりの遊び方を見つ、形や色、音や転がる速さなどいろいろなことを試して楽しんでほしいと考えている。
- 様々な色が分かるようになりイメージしながら描いたり好きな色を使って塗ったりする姿が見られる。自分なりの表現を自由に楽しんでもらいたいと考えている。
- 「代わって」「貸して」「あとで」など遊びを通して自分の気持ちを表現しようとする姿が増えている。自分の思いや言葉表現しながら遊びを楽しんでほしいと考えている。



## 101

<p>・「先生見て」と見せる。 ・「赤にしよ」などと女ばかりと色を合わせたり「私は赤！」と自分の色を伝えたりする。 ・「アンパンマンを描く」「これは紅」と好きなものをイメージして描く。 ・「盾に付けるやつ作る」「耳に付けるやつ作る」と作りたいものを考えながらアイズに渡る。 ・「つけるやつちょうだい」と足らないものがあることを伝える。 ・好きな色や形のピースやストローを色や形で通す。 ・反知から抜けてしまいがもう一度作り直す。 ・「きれいや」「かわいい」「こん」「きれいや」「かわいい」「こん」など自分で作っているものを見て感心したことを言葉にする。 ・「できで！」と保育者に伝え、くくつてもらう。 ・「ハンパンガー作る」や「イチゴのアイズがわい」と作りたいものを伝える。 ・難しいところは手伝ってもらいながら自分で作る。 ・完成した物を身に着たり、食べたりして満足する。</p>	<p>・「先生見て」や「ハンパンガー作る」「テープ貼って」など簡単な言葉のやりとりを楽しみ、必要な物を自分なりに伝えようとしているか。</p> <p>・「ネックレス作るうか」「プレスレット作るうか」と子どもが作りたいものの名称を伝える。 ・欲しいものを教えてくれているか。 ・「欲しいものを伝え、言葉で言うことがどうと伝え、言葉で言うことを覚める。」 ・集中して取り組む姿を見守り、必要に応じて手伝う。 ・「通すのが難いね」「通せたね」「できたね」と子どもの気持ちに共感する。 ・抜けてもやり直そうとする姿を認め、「頑張って通したのね。もう一回やってみよう」と優しい気持ちに共感したり思いを代弁したりしながら、意欲を引き出す。 ・「かわいいのができたね」「おいしそうなお食べ物ができたね」など声を掛け共に完成を喜ぶ。 ・「長いのが作れたね」「全部ピンクにしたの?」など長短や色にも興味をもてる声掛けをする。 ・「先生も食べたいな」「何で作ったの」「誰と作ったの」など共感したり、考えたりできるような声掛けをする。</p>	<p>・「今日のご飯はなんですか」「オムライスください」など簡単な言葉のやりとりを楽しめるようにする。 ・「熱いからアプーアプーして」「おいし」「かわい」「食べたい」など、見立てやなりきりが発達していくような声掛けをする。 ・「パンづくりさんお風呂?」「沈んだどんぐりもあるね」と遊びが広がる声掛けや遊びに気づける声掛けをする。 ・「何度か転がす姿を見守り」「なんで転がらないのかね」と一緒に考えて、形や大きさなどにも興味を持てる声掛けをする。</p>	<p>・「先生見て」や「ハンパンガー作る」「テープ貼って」など簡単な言葉のやりとりを楽しみ、必要な物を自分なりに伝えようとしているか。</p> <p>・「ネックレス作るうか」「プレスレット作るうか」と子どもが作りたいものの名称を伝える。 ・欲しいものを教えてくれているか。 ・「欲しいものを伝え、言葉で言うことがどうと伝え、言葉で言うことを覚める。」 ・集中して取り組む姿を見守り、必要に応じて手伝う。 ・「通すのが難いね」「通せたね」「できたね」と子どもの気持ちに共感する。 ・抜けてもやり直そうとする姿を認め、「頑張って通したのね。もう一回やってみよう」と優しい気持ちに共感したり思いを代弁したりしながら、意欲を引き出す。 ・「かわいいのができたね」「おいしそうなお食べ物ができたね」など声を掛け共に完成を喜ぶ。 ・「長いのが作れたね」「全部ピンクにしたの?」など長短や色にも興味をもてる声掛けをする。 ・「先生も食べたいな」「何で作ったの」「誰と作ったの」など共感したり、考えたりできるような声掛けをする。</p>	<p>【活動】</p> <p>・外遊びの準備や入室時の着替えがしやすいように帽子や靴、お着替えセットを用意しておく。</p> <p>・取りやすいところに玩具や自然物を置いておく。</p> <p>・お皿、カップ、スコップ、自然物など</p>
---	--	--	--	---

【日 時】 令和6年11月26日（火曜日）9時30分～10時45分

【対象児】 3歳児 ゆり組（男児9名 女児9名）

【担任名】 竹内浩 東智美（支援担当） 川村富子（支援担当）

#### 【子どもの姿】

##### <子どもの生活の特徴>

- 身の周りのことができるようになり、自分で行おうとする。服、ズボンの前後が逆になってしまいう子もいる。声をかけると気づいて直そうとする。
- 食事面ではお箸を使用し、持ち方や座る姿勢について言葉がけをすると意識しようとする姿が見られる。その日の食事に応じてスプーン、フォークを使用している子もいる。
- 排泄は自分のタイミングで行ける子もいるが、声をかけることが必要な子もいる。また、オムツの子はタイミングを見てトイレに誘いかけている。

##### <発達の特徴>

- 身の回りのことのできないこと、分からないことがあれば自ら自分の言葉で伝えようとする姿も見られるようになってきた。また、友だちが困っていることに気づき教えようとする姿、手助けする姿も見られる。
- 遊びの中で友だちとの関わりが増えてきて、一緒にイメージを共有しながらごっこ遊びを楽しんだり、お店屋さんごっこでは自分の思いを伝え合いながらやりとりしたりする。まだ思いが伝わりづらいこともあり、トラブルになってしまいうこともある。
- 製作に興味を持ち始め、自分の作りたいものを保育者に伝え様々な素材を選び、はさみやのりを使って難しいところは保育者に援助してもらいながら、作ることを楽しんでいる。

##### <遊びの特徴>

- おままごと、お店屋さんごっこ  
おままごとでは赤ちゃんの人形のお世話をしている中で「ベビーカーがほしい」と必要なものを伝えてくれた。用意すると「おさんぽいく」と友だちと出かけた。また、「ねたからしずかにしてな」とやりとりをしながらお母さんになりきって遊んでいる。  
お店屋さんでは、帽子をかぶりエプロンをして「いらっしゃいませー」と、メニュー表を渡し「なににしますか？」「～もありますよ」と自分が経験したお店屋さんのように話をし、お客さんも「～ください」「おかねです」とやりとりをして楽しんでいる。
- 砂遊びでは型抜きを使いお皿に食べ物を作ったり、ご飯の上に葉っぱや枝などを見つけて盛り付けをしている。ふるいを使い友だちと一緒にさらさらの砂を作る姿も見られる。
- ハッピーセット屋さんごっこ  
使っていたお店屋さんの帽子がロボロボだったので新しい帽子を作ることになり、どんな帽子にするか聞いてみると「ハッピーセットがいい」という声があった。その声を聞いた周りの子どもたちも「ポテトもいるやん」「ナゲットはつくらんの？」と



言い始めた。作りたいものがどんどん出てきて製作が始まり、保育者と一緒にマクドナルドの帽子、ポテト作りなどを楽しんでいる。

○車ごっこ（Bブロック、レゴブロック）

Bブロックでは車を作る子が多く見られたので道路を用意した。友だちと考えるながら道路を繋げていき、保育者も援助する中で友だちと一緒に道路を抑える子、セロハンテープで貼る子と完成させて、遊んでいる。レゴブロックで遊び始めるようになった頃は、個々で好きなものを作るのがよく見られていたが、最近は気の合う友だちと一緒に一つのものを作る姿が見られる。

#### ○製作

自分で拾った落ち葉やどんぐりなどを画用紙に貼ったりして自然物も取り入れて作ることを楽しんでいる。また、まつぼっくりをタイヤにしたら車が作れるんじゃないかな？となり、そこから車の上にどんぐりを貼り顔を描き、人に見立てる姿も見られる。イメージに近い遊び完成するとできたことを嬉しそうに伝え、満足感を得ていた。

#### ○サーキット

運動会でサーキットをして身体を動かす経験をしたことで、身体を動かす楽しさを感じている。園庭でもサーキットを楽しむ子が増えてきた。年中・年長児のサーキットを見て、よい刺激になりありこがれて難しいものも楽しんでいる。

##### <ねらい>

- 自分の思いを言葉にして伝えたり、友だちとやりとりしたりすることを楽しむ。
- 自分なりにイメージしたものを作ることを楽しむ。
- 身体を動かすことを楽しむ。
- <内容>  
○自分が経験したことを思い出しやりとり、友だちとのやりとりを楽しむ。  
○イメージしたものを伝え、援助してもらいながら様々な素材を使って製作あそびをする。  
○くぐる、跳ぶ、またぐ、登る、握るなど、運動あそびをする。

##### <内容選択の理由>

- ごっこ遊びではイメージしてなりきったり、普段の生活の中で経験したことを取り入れてなりきること、友だちとやりとりの楽しさを知ってほしい。
- イメージしたものを援助してもらいながら完成させ、できた喜び、達成感を味わってほしい。作ったものをごっこ遊びに取り入れることで他児が興味・関心を持ちイメージを共有したり、作ってみたいと製作にも意欲を持ち遊びが広がってほしい。
- 保育者になぜねたり、自分たちで遊び方を工夫し、全身で運動する楽しさを味わってほしい。また鉄棒や縄跳びなどにも興味を持って遊び方の中で、手に力を入れる、握り方を知ること、指先を動かすことにも繋がってほしい。





# 公開園【タンポポこども園】

・信号機	で走らせて遊ぶ。	・子どものイメージして作りたいものを聞き、素材と一緒に選んだり、作り方を子どもが考えられるように話を進めていく。	・子どものイメージして作りたいものを聞き、素材と一緒に選んだり、作り方を子どもが考えられるように話を進めていく。
<ul style="list-style-type: none"> <li>製作がしやすいように机の上に製作ボックスを用意しておく。</li> <li>はさみ</li> <li>画用紙</li> <li>画用テープ</li> <li>花紙</li> </ul>	<p>○製作遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イメージして作りたいものを保育者に伝え、素材や画用紙など素材を探し、ハンバーガーやポテト、携帯など一緒に作っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イメージして作りたいものを保育者に伝え、素材や画用紙など素材を探し、ハンバーガーやポテト、携帯など一緒に作っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イメージして作りたいものを保育者に伝え、素材や画用紙など素材を探し、ハンバーガーやポテト、携帯など一緒に作っていく。</li> </ul>
<p>サーキットができるように設置しておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平均台</li> <li>ゲームBOX</li> <li>鉄棒</li> </ul>	<p>○サーキット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>くぐる、跨ぐなど楽しみながら行い、友だちや年上の子がしている姿を見てやってみようとする。</li> <li>やってみたくても怖い時は保育者に援助を求め、助けてもらいながらする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>危険のないように傍で見守り、できたことを共に喜んだり援助しながらできたという達成感を味わえるようにしたり、自己意欲が持てているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しみながら身体を動かすことができるか。</li> <li>やってみようとするか。</li> <li>意欲が持てているか。</li> </ul>
	<p>○砂遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>型はめで食べ物を作り保育者に「ごはんできたよ～」と渡したり、ふるいを振り「サラサラ～さわってみて」と友だち同士で見せ合って楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「これはどうやって作ったの？」など子どもに問いかけたり、「～味ありますか？」と言葉のやりとりが楽しめるようにする。</li> <li>サラサラの砂の違いに気づけるように触り合ったり、どこの砂を使ったのかなど話が広がるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちの遊んでいる遊びに興味を示してやってみたり「どうしてつくったん？」など聞いたりやりとりして遊んでいるか。</li> </ul>

環境構成	予想される子どもの姿	保育者の援助と配慮	評価の観点
<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが選んで遊びやすいように決まった場所に置いておく。</li> <li>帽子</li> <li>ベビーカー</li> <li>赤ちゃんの人形</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きな遊びを見つけて遊び始める。</li> <li>○ままごと</li> <li>机に料理の乗ったお皿を友だちと並べたり、ワミーでも食べ物を作り見立てて遊ぶ。</li> <li>赤ちゃんの人形に食べさせたり、家の中で寝かせお世話をする。</li> <li>友だち同士でお父さん、お母さん役を決めたり「ばぶー」と赤ちゃんになりきりままごと遊びをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども同士でのやりとりを見守り、関わりが持てるように仲立ちしていく。</li> <li>ブロックで食べ物を見立てられるように一緒に考えたり、想像が膨らむような言葉かけをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作ったものを友だちと見せ合い、作り方を聞くなどやりとりをしたり、作ったものをままごとに取り入れて見立て遊びを楽しんでいるか。</li> <li>友だちと自分のなりたい役を伝え合いながら決まれているか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>作った食べ物をままごとに取り入れられるようにブロックを置く。</li> <li>置いたままのブロックを置く。</li> </ul>	<p>○お店屋さんごっこ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>帽子をかぶり店員になりきり「いらっしゃいませー」「ポテトありますよー」とお店さんが始まる。</li> <li>「ポテトください」とお客さんも加わりやりとりを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>やりとりする中で子ども同士が関わりを持って遊びが広がるように「他に何かありますか？」など保育者も加わり一緒に遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お店屋さん、お客さんになりきり「～ありますか？」「～はどうですか？」などやりとりを楽しんでいるか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ブロックを出して道路を作ったり、走らせたり遊びやすいように場所を開けておく。</li> <li>道路を繋げるためにセロハンテープを用意しておく。</li> <li>道路</li> <li>トンネル</li> </ul>	<p>○車ごっこ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>車ごっこでは、新幹線や救急車、消防車など作る。</li> <li>友だちと「ぼくは～つくった」「ここは～で…」と言葉で伝え合い一緒に走らせて楽しむ。</li> <li>駐車場を作ったり、道路を友だちと一緒にしながらセロハンテープで繋げ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちで道路が繋がれるように声をかけたり、セロハンテープを用意して傍に置いて子どもたちで一緒に遊ぶ姿を見守り、必要であれば援助する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちと自分の思いを伝え合いながら一緒に道路を繋げたりしているか。</li> </ul>



104



## 公開園【タンポポこども園】

段ボールで出来たステーション	段ボールで出来たステーション	段ボールで出来たステーション	段ボールで出来たステーション
・段ボールで出来たステーション	・衣装を着て、マイクや楽器を持って、踊ったり歌ったりする。	・衣装を着て、マイクや楽器を持って、踊ったり歌ったりする。	・衣装を着て、マイクや楽器を持って、踊ったり歌ったりする。
・段ボールで出来たステーション	・衣装を着て、マイクや楽器を持って、踊ったり歌ったりする。	・衣装を着て、マイクや楽器を持って、踊ったり歌ったりする。	・衣装を着て、マイクや楽器を持って、踊ったり歌ったりする。
・段ボールで出来たステーション	・衣装を着て、マイクや楽器を持って、踊ったり歌ったりする。	・衣装を着て、マイクや楽器を持って、踊ったり歌ったりする。	・衣装を着て、マイクや楽器を持って、踊ったり歌ったりする。

環境構成	予想される子どもの姿	保育者の援助と配慮	評価の観点
・好きな遊びができるよう、おもちゃや玩具を準備しておく。	・遊びながら、おもちゃや玩具を準備しておく。	・遊びながら、おもちゃや玩具を準備しておく。	・遊びながら、おもちゃや玩具を準備しておく。
・製作遊び	・製作遊び	・製作遊び	・製作遊び
・製作遊び	・製作遊び	・製作遊び	・製作遊び
・製作遊び	・製作遊び	・製作遊び	・製作遊び



【日 時】 令和 6 年 11 月 26 日（火曜日）9 時 30 分～10 時 45 分

【対象児】 5 歳児 さくら 組（男児 9 名 女児 9 名）

【担任名】 林知里 梨子木理恵子

### 【子どもの姿】

#### <子どもの生活の特徴>

- お道具箱に物を詰め込みだりして、整理や物の管理が苦手な様子が見られる子どもも数名いるが、基本的な生活習慣が身に付き、身の回りのことは自分たちで行うことができる。
- 「〇時になったら、お片付けしようね」など見通しを持って行動できるように声掛けをすることで、自分で考えて行動できるようになってきているが、できにくい子どももいる。
- さくら組おうち会議（振り返り）や食事の際の姿勢保持が難しい子どももいるが、声を掛けると姿勢を保とうとしている。

#### <発達の特徴>

- 興味のある遊びを通して友だち同士で遊びを進め、発展させて楽しむために自分の思いを伝えたり相談したり、協力しながら共通のイメージを持ち遊びを進めていく姿が見られる。
- いろいろな道具や廃材を使ってイメージや目的のものを工夫しながら作り上げようとする姿がある。

#### <遊びの特徴>

##### ○製作遊び

一人ひとりが目的を持ち、作りたいものを作ることや思いを表現する姿が見られ、あちこちでそれぞれの製作遊びが展開している。その中で、イメージに合った素材を選んだり、試行錯誤したりしながら作り上げる姿が見られる。連携活動で幼稚園児や 1 年生と自然物を使って製作する活動で作ったトンボ、けん玉、〇×ゲーム、ケーキなどを保育室に飾っておくと、次の日から「作りたい！」と興味を持ちはじめ、友だちの作品を見ながら作る姿や「どうやって作ったの？」と作った友達に作り方を聞き、作るようになった。そこから、遊びが発展し男の子たちを中心に、難しさのレベルを考えたり、チャケット制のルールを考えたり、けん玉で繰り返し遊んでいく中で、「玉が入りやすい毛糸と入りにくい毛糸がある」と、気づきながらグループで遊びを楽しんでいる。他にも、好きなキャラクターや自分の興味のある遊びに必要な素材を考え、その特性を生かしながら自分の目的のものを作り上げていく楽しさを感じながら遊んでいる。

##### ○おうちごっこ

春からおままごとコーナーの中で、少人数で役割を決めながらおうちごっこを楽しむ姿があった。遊びの中で必要なものを自分たちで考え、作ろうとする姿があり、製作遊びとつながるきつかけとなった。友だちと話し合いながら作っていく中で、「赤ちゃんのおもちゃってどんなん？」という声があり、乳児クラスへ赤ちゃんのおもちゃを見に行ったり保育者に質問したりし、作りたいものを作り上げていく経験をしている。「赤ちゃんが熟出たで病院行ってくる」と病院ごっこに発展し必要な薬



や体温計などの小道具や目印になる看板を作ったり、お化粧道具を作っていくにつれ作ったお化粧道具を収納するドレッシングづくりに発展し、子ども同士でお化粧をしあったり、自分たちで想像豊かにおうちごっこの遊びを広げている。

##### ○きのこたうん（まちづくりごっこ）

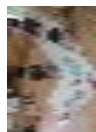
友だちが作った作品に興味を持ち、「自分も作ってみたい」という気持ちが芽生え作り方を教えてもらったり、一緒に作り上げていく姿が見られる。きのこ好きの男の子を中心にラキューで作ったきのこや人を机の上に並べて友だちとやり取りしながら遊んでいる姿が見られるようになり、大きな画用紙を用意すると、道路を描きはじめ「ここお家な」「駐車場があったらいいんちゃうん」と伝え合いながら協力して遊びを進めたり、興味を持った子たちもどんどん加わり、廃材や秋の自然物を使ってお家や車などをつくる姿が広がる。そこから、「車あるからガソリンスタンドいるやろ」「ここ寂しいから森にしよ」「木とか落ち葉とか？」ときのこたうんに何が必要か子ども同士で話し合い、役割分担をしながらそれにあった素材を友だちと一緒に探したり一緒に作ったりしている。

##### <ねらい>

- イメージしたものを自然物やいろいろな道具、廃材を使って、考えたり、工夫したりして作って表現することを楽しむ。
- 友だちと考えを伝え合ったり、協力したりしながら一緒に遊びを進める楽しさを感じる。

##### <内容>

- いろいろな道具や廃材を工夫して使い、自然物を取り入れながら、自分のイメージを形にしたり友だちと一緒に作ったりする。
- イメージしたものを工夫して作ったり、ごっこ遊びや見立て遊びをしながら役になりきって遊ぶ。
- ラキューやいろいろな素材を使って考えたり工夫しながら作品を作り友だちと協力して共通の世界を作る。
- <内容選択の理由>
  - 製作遊びでは、イメージしたものをいろいろな道具や廃材、自然物を使って自分なりに表現したり友達と一緒に作ることを楽しんできている。モデルとなるような季節の本を用意したことや一人でひとりの工夫がより豊かにみられるようになり、伸ばしていきたいと思い選択した。
  - おうちごっこでは、言葉や動作を使って役になりきり友だちとやり取りを楽しむ姿がある。おうちごっこに足りないものがあることに気づくと自分たちでイメージを共有しながら作ろうとする姿が見られるようになり、その姿を大切にしていきたいと思い選択した。
  - きのこたうんでは、それぞれが作りたいラキューを作った飾っていたが、興味を持った作品を通して作り方を教え合ったり、協力したりしながらラキュー以外の素材も使って一つの世界を作り上げたりする姿が見られるようになり、その姿を大切にしていきたいと思い選択した。





<p>して場所の確保をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな素材や素材に合わせた道具、子どもたちのイメージが膨らむような素材を用意しておく。</li> </ul>	<p>エージを言葉で伝えたり、友達の子のイメージを受け止めたりしながら楽しんで、きのこたうんを作っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びを楽しむ中で、「お家が足りない」「人もうちよっというんちやうん」など足りないものに気が付き、廃材やラキューなど色々な素材を使って作ってみようとする。</li> <li>・作りたいものをうまく表現できずに困っている子に「こうしたらどう？」「と提案する子どもがいる。</li> </ul>	<p>話に入ったり、子ども同士をつなげられるように援助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できたものを重ね合ったりしながら次の展開を促すように援助していく。</li> </ul>	<p>しながら作ることを楽しんでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイデアを提案した友だちに「それいいやん」など認める言葉があるか。</li> </ul>
<p>・片付けやすいように写真を取っておく。</p>	<p>○片付け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さくら組おうち会議が始まることに気づき、使ったものを元に戻したり床に落っているゴミを箱に捨てたりする。</li> <li>・自分のしていた遊びの片付けが終わる、なにを片付けたらいいかわからず、うろうろしたり、友だちと遊び始めた子も子ども数人いる。</li> </ul>	<p>・「そろそろさくら組おうち会議よ」と言葉をかけ、保育者も一緒に片付ける。</p>	<p>・「そろそろさくら組おうち会議よ」と言葉をかけ、保育者も一緒に片付ける。</p>
<p>・全員が顔を見合わせて話ができるよう円形になって話を進める。</p>	<p>○さくら組おうち会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の遊びの中で、気づいたこと、工夫したこと、楽しかったことを友だちや保育者に話す。</li> <li>・友だちの話を興味を持って聞き、気になったことを質問や「こうしたいと思う」と提案をしたり、それに答えたりする。</li> </ul>	<p>・子どもの思いに共感したり子どもたちに質問がないか投げかけたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの感じたことや考えたことなどに共感しながら、子ども同士で話が進められそうな時には一歩引いて見守るようになる。</li> </ul>	<p>・自分なりの言葉で思いや考えを伝えようとしているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちの話や考えに興味を持って聞いたり、気になったところや思いなどを相手に伝えたりしようとしているか。</li> </ul>

環境構成	予想される子どもの姿	保育者の援助と配慮	評価の観点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き箱や画用紙、自然物など、素材に合わせた道具などを日々整え、必要なものが自由に使えるように十分に用意しておく。</li> <li>・一人ひとりの必要に応じて作りやすいもののイメージが広がるように絵本や写真などを提示する。</li> </ul>	<p>○製作遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・けん玉やビタゴラゴラスイッチ、ケークなど作りやすいものに合いやすい廃材や自然物を選び、イメージを膨らませて作る。</li> <li>・友だちが作った製作物を見て興味を持ち、「僕も作りたい!」と自分も作ってみようとしたし、「どうやって作るん?」と作った友だちに作り方を教えてもらったりしながしたる。</li> <li>・イメージしたものが形になるよう、思いを共有しながら作り上げていく。</li> <li>・作ったものを使って友達と一緒に遊んでいく中で、気づいたことや困ったことがあると友だちや保育者に伝え共有しようとする。</li> </ul> <p>○おうちごっこ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おうちごっこを楽しむために、赤ちゃんとのお世話グッズやお医者さんの服、トイレなど必要な物を作るために友だちと一緒に素材を選んだり、考えや思いを伝え合ったりしながら一緒に作る。</li> <li>・自分たちで話し合って「わたしお母さんする!」と役割を決め、その役になりきり、経験したことや作った食材、道具を取り入れながら遊びこむ。</li> </ul> <p>○きのこたうん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作ったお家や車などを置いたり絵で表現しながら自分のイメージで表現するなど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが必要とした時には、一人ひとりに合わせて、「こはどうしたいの?」と、作りたいものが作れるよう援助をする。</li> <li>・子ども同士でやり取りをしなが製作には見守る。</li> <li>・友だちが作ったものに興味を示し、自分なりに作ろうとしたり友達に聞きなが作ろうとしているが。</li> <li>・「○○ちゃん、くんと一緒に考えなが作ったの!」「ここ〇〇でいいね!」など友だちと一緒に作った姿を認める言葉かけ。</li> <li>・気づいたことがみんなに共有できるように、子どもたちの話を聞きなが紙にまとめたり他の子どもたちにも伝えたりする。</li> <li>・子どもたちのやりたいことが実現できるよう、必要に応じて思いやイメージをじっくりと聞いて援助を行う。</li> <li>・子どもたちの世界観を壊さないように子どもたちと同じ目線に立って展開を楽しむようにする。</li> <li>・子どもも同士のやり取りを見守りながら、必要に応じて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作りたいものに合いそうな廃材や自然物を選び、作ろうとしているが。</li> <li>・友だちが作ったものに興味を示し、自分なりに作ろうとしたり友達に聞きなが作ろうとしているが。</li> <li>・友だちと一緒に思いや考えを伝えなが作ることを楽しんでいるが。</li> <li>・イメージを実現するために必要な素材を選んでいるが。</li> <li>・友だちと相談しながら役を決め、役になりきって動いたり、セリフを言ったりと表現することを楽しんでいるが。</li> <li>・友だちに思いや考えを伝えたり、相談したり</li> </ul>

# 令和6年度 乳幼児教育ビジョン推進事業 報 告 書

---

舞鶴市健康・こども部 こどもまんなか室  
乳幼児教育推進課 乳幼児教育センター  
〒624-0854 京都府舞鶴市円満寺100番地の4  
TEL 0773-68-9510